



(実施概要)

地域リーダー等養成講座 ぎのわん地域づくり塾2023



令和6(2024)年3月

主催：宜野湾市／市教育委員会

協力：社会福祉法人宜野湾市社会福祉協議会

企画・運営：NPO法人まちなか研究所わくわく

地域リーダー養成プログラム

宜野湾市では、地域に暮らす多様な人々が、何らかの活動やコミュニティに関わり、参加することで「このまちに住んで良かった」と思える「誇りと愛着の育まれるまちづくり」の実現を目指しています。そのためには、地域に多様な人々が集い、話し合うしかけをつくる「地域リーダー」や「地域コーディネーター」が必要です。

今年度は「普天間第二小学校」をフィールドに、今ある活動とコミュニティを知り、新たな地域活動を行う知識やつながりをつくるため、第6期となる「ぎのわん地域づくり塾2023」を開催しました。本塾では、地域の活動を知る講座、スキルアップ講座、フィールドワーク、企画づくりを通じて、モデル地区（普天間第二小学校区）の地域課題をとらえ、解決のための企画提案を行う過程から、地域リーダーとなる人材を育成します。

地域づくりのプロセスを大切にする 地域リーダーの養成



地域の活動を知る

地域のステークホルダーが集う地域円卓会議や、校区内で活動する団体が活動発表や講座を行うことで、今、地域にある活動と困りごとを学びます。

企画づくり

塾生同士でチームに分かれ、地域づくりのプロセスを実践し、地域課題の仮説を立て、検証し、解決策の企画立案を行います。

フィールドワーク

モデル地区を実際に歩くことで、地域課題や地域資源を発見し、確認し、掘り下げるためのフィールドワークを行います。

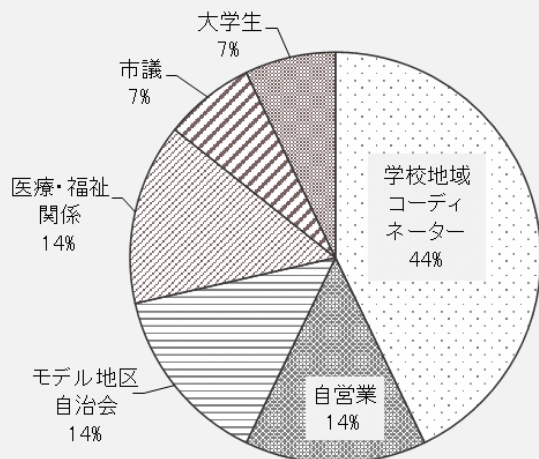
スキルアップ講座

県内の地域づくり実践者が講師となり、地域の資源を活かすためのファシリテーションや企画づくりのスキルについて学びます。

6期塾生 15名修了 (要件：2回以上の講座出席かつ企画づくりに参加)

宜野湾市の協働による地域づくりに関心のある市内外の方を対象に、塾生の募集を行いました。

その結果、第1回公開講座には45名の方々にご参加頂き、企画立案チームに所属した受講生は15名でした。



兼濱 愛里さん
社会福祉士

公民館の可能性と協働のまちづくり

普天間第二小学校区の3つの公民館のポテンシャルの高さに気づき、公民館はまだ資源としての可能性をひめた場所なんじゃないかと気づきました。

企画づくりを通して地域課題を知ったり、その解決のワンアクションを考えるなど協働によるまちづくりの過程を学ぶことができました。こんなに楽しい塾は初めてです！ありがとうございました。

第1～6期修了生 **136**名



**異業種、異分野の
メンバーがチームで
学び合う**

行政、民間、福祉、自治会等、異なる専門性を持つ方達とチームで学び合います。



**地域の現場（自治会エリア）
で学び、
地域へ提案する**

地域の方々とも話し合い、2ヶ月間かけて、地域の課題を探し、解決策を提案します。



**宜野湾市での
地域づくりの仲間と
ネットワーク**

塾生同士や地域の方達との関りだけでなく、修了生136名とのネットワークが広がります。

第6期のモデル地区（普天間第二小学校区）

普天間第二小学校区は、宜野湾市の北側に位置し、人口は4,546世帯、9,397名（令和5年6月末）で、普天間三区、新城区、喜友名区の3つの行政区に分かれています。地区内には、多くの商業施設や飲食店が立ち並び、現在開発中の西普天間住宅地区に隣接するなど、今後も発展が期待される地区です。また、喜友名泉や喜友名石獅子群などの文化財にも恵まれています。地区内3自治会の自治会加入率（令和4年度末）は、普天間三区32.24%、新城区32.44%、喜友名区28.52%となっており、地区の公設公民館を自治会が管理・運営しています。



図の引用：宜野湾市市勢要覧 2014



赤嶺 保和さん
医療法人アガベ会
職員

地域のためにできること

普天間第二小学校区は、色々な伸び代の中で日々変化している住人とお店と公民館があるステキな場所だと知りました。他の地域にもきっといるステキな人、場所を探そうとする姿勢が大切だと学びました。会社の為に地域で何ができるかと考えがちでしたが、地域に対して会社ができることを考え繋がる工夫をしていきたいと思っています。



幸地 利香さん
普天間中学校地域
コーディネーター

塾から地域の活性化へ

塾のプログラムを通じて地域が活性化すると、その波及効果がとても大きいことを実感できました。1番は皆さんの地域への愛がすごいと感じました。今回はとても有難い出会い、そして実りのある講座に感謝しています。

企画から自治会の繁栄に期待

時間をとるのが大変でしたが、それでも1~8回まで出席することができたこと、そしてチームで団結してたくさんの事学び、意見することができてよかったです。各自治会が抱えている問題や悩みなど共通するところがあり、今回の塾で企画を立て、自治会が繁栄していく事を期待し、私に出来ることをやっていきたいです。



古波蔵つや子さん
普天間三区自治会
書記

事業立ち上げに向けて

いろんな方との出会いや地域との繋がりができて本当に感謝しています。これから、自分自身でも地域に根ざし地域に貢献できる事業を立ち上げたいと思っています。障がい者の方など多様性の力で地域を盛り上げたいです。



大河 正治さん
ドローンインス
トラクター

公民館のあり方から考える

公開講座「誰でも使える公民館のあり方を考える地域円卓会議」では、宜野湾市において重要な拠点である公民館について、ステークホルダー、地域住民と話し合うことで、公民館に様々な人が集い活動する拠点となるための現状と課題を共有し、議論から見えてきたアプローチの方向性を提案しました。



宜野湾市の自治公民館は、地域住民の徒歩圏にあり、スペースも大きく、常駐スタッフもいる等、市民にとって大切な財産である。

1. これからは、これまで公民館を利用してこなかった方々への眼差しを向け、区民が「どこかで繋がっている状態」を目指したい。ただし、自治会役員の方だけ過重負担をかけない仕組みは重要（例：施設管理等業務にITツールを取り入れる等）
2. 公民館活用に関する情報発信を見直し、まずは、主体性をもって取り組む住民のアイデアを活用したい。あらたな「巻き込み」からさずかった公民館活用の様々な企画を実行・発信していくことが大切。さらに今後は企業や学生など、外部の人材活用も視野に入れ、交流人口も増やしていこう。
3. 地域内でどこかで誰かが繋がっている状態をつくることは、なかなかメソッドになりにくい。公民館を活用した新しいつながり（今回のぎのわん地域づくり塾生等）に関する助成等を出しながら企画を誘発させていく事業も併せて行うことが市の取り組みとして重要かと考える。

地域で人が集い、話し合うための企画提案

塾生が3チームに分かれ、公開講座と全8回の連続講座を通して学んだことをもとに議論を重ね、地域で集い、話し合える場の企画提案を行いました。企画内容は、地域に暮らす多様な人々のなかで対象を決め、タイトル、目的（どのような企画を実施し、何を達成するのか）、背景（企画意図）、企画内容等を2枚以内の企画書にまとめました。最終発表では、モデル地区自治会をはじめ参加者にコメントをいただきました。



渡名喜 庸松さん
普天間三区自治会

自治会の目線では見えないようなところから提案していただきました。3自治会に企画を持ち込んでいただいて、協力しながら、どの企画も実現するといったと思います。



佐久原 昇
宜野湾市教育委員会

どの発表も、地域の実情をよく聞いて見て調べ上げた地道な努力の賜だと思います。この塾を通して得たスキル、ネットワークを活かし、今後も活躍してほしいと思います。

提案① 地域をつなぐ・ぎのわんヒルズ通り店舗のプレゼン合戦！

～古くからの住民と新しい住民・店舗をつなぐ～

目的・背景

地域に集いの場をつくることで、地域の知らない者同士が交流を助け、つながる機会を創る！

まずは、長く地域に住まう住民や以前からある店舗と、新しい住民や店舗が気軽に交流できる場として、公民館で店舗のプレゼン合戦を実施する。

企画内容

・イベント名称：「ぎのわんヒルズ通り店舗のプレゼン合戦！あなたのお店、地域にアピールしてみませんか」

実施場所：普天間三区公民館（2階集会場）or 新城公民館（1階ホール）

チーム：でいごストリート



今、地域にある活動から考える

第1回講座「普天間第二小学校区内活動発表」では、今ある活動と出会い、活動の現状と課題を知るため、普天間第二小学校区で活動する3自治会と4団体に地域での取り組みについて発表いただきました。



渡名喜 庸松さん

普天間三区自治会

普天間三区公民館で、習い事や部活に行っていない子どもたちの放課後の居場所として、宿題を見たり外遊びの他、季節行事やお泊り会なども行っています。高齢の方を中心にラジオ体操もしています。



山城 百合子さん

新城自治会

新城区公民館でミニデイサービスを行っており、ボランティアが食事をつくり提供しています。自治会に所属する新城区婦人会では、新小学1年生に手作りの交通安全キーホルダー贈呈しています。



我如古 留美子さん

喜友名区自治会

見守り世帯の情報共有等を行う支え合い活動委員会を行っています。子ども会の取り組みや、地域のお祭りやスポーツ大会などの企画運営、実行を担う公民館応援レンジャー等の活動もあります。

普天間中学校区

民生委員児童委員協議会

民生委員児童委員の活動を支える民児協では、各中学校区の定例会や研修を実施しています。



知念 峯子さん

ゆいペイフワード

弁当やお菓子など、見守り世帯や子どもの居場所に提供。助成金も活用し、弁当ロス対策と、要支援者の見守り支援に繋がっています。



呉屋 ゆかりさん

普天間やまがっこう

未就学児から若者世代を対象に、学習支援や食事提供を行う子どもの居場所です。学校等と連携し、登校支援なども行っています。



當山 洋子さん

普天間第二小学校PTA

保護者が学校を支える活動であるPTA学校専門委員会を学年で分担して実施しています。各学年で年1回のPTA行事も行っています。



豊見山 智さん

提案② 普天間第二小学校における不登校の子どもたちと創る新たな居場所 ～こころの安全基地としての地域づくり～

目的・背景

普天間第二小学校区内の不登校等の子どもたちが活躍する居場所を構築する。

子どもを取り巻く地域の社会資源について知り、子どもたちが安心して過ごせる「こころの安全基地」としてバージョンアップしていけるようにする。

企画内容

1. 運営グループを組織する
2. ミニデイ・地域イベントへの参加企画
3. 地域の「すぐりむん（名人）」との交流
4. 大学生ボランティアによる勉強の場を提供
5. 実態ニーズ調査（保護者アンケート）実施

チーム：Bチーム



提案③ 出入り自由なゆるい社交場 リアルでもオンラインでも ～スナック公民館～

目的・背景

障がい者、精神疾患、引きこもりや高齢者など、支援が必要な人たちに向けリアルに集える場 オンラインで視聴できる環境をつくり、出入り自由のゆるい社交場を作ることで、地域社会や当事者同士のつながりを作りやすくする。自己責任論が強い社会で、誰もが気兼ねなく“迷惑”をかけあい、誰もが“必要”とされていると実感の持てる社会を目指す。

企画内容

1. 普天間三区地区の空き店舗、または日中使われないスナックを活用し、スナック公民館を開店する。
2. “スナック公民館”のYouTube アカウントを作り、店舗をベースに定期的に配信を行う。

チーム：Aグループ



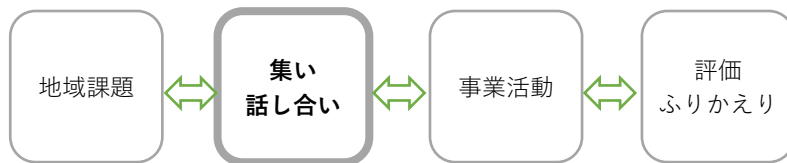
ぎのわん地域づくり塾カリキュラム

「ぎのわん地域づくり塾」では、公開講座と全8回の連続講座を通して、普天間第二小学校区に今ある活動を知り、地域課題の仮説を立て、フィールドワークやスキルアップ講座を通して課題を探り、地域で人が集い、話し合う場を企画提案する過程から、地域リーダーとしてのスキルを学んでいきました。

地域リーダーの人材像

地域づくりのプロセスを大切にし
関係団体や住民と協力して活動することで
企画を立案し、地域コミュニティの
課題解決に向けた動きをつくりだす人材

協働による地域づくりの「プロセス」



公開講座

日時 9月9日(土)
14:00~17:00
会場 宜野湾市社会福祉センター

第1回講座

日時 10月7日(土)
10:00-16:00
会場 普天間三区公民館

第2回講座

日時 10月11日(土)
19:00-21:30
会場 新城区公民館

第3回講座

日時 10月14日(土)
9:30-15:00
会場 喜友名区公民館

第4回講座

日時 10月18日(水)
19:00-21:30
会場 普天間三区公民館

公開講座

誰でも使える公民館のあり方を考える
地域円卓会議

参加者 45名

着席者 9名(論点提供者、司会、記録者含む)

テーマ「普天間第二小学校区の自治公民館が、誰でも分け隔て無く使える地域活動の拠点となるには、どのような課題があるか考える。」

宜野湾市の公民館が、気軽に集い交流できる拠点となるにはどのようなことが必要なのか、普天間第二小学校区をモデルに公民館の未来について、様々な立場の着席者からの情報提供をもとに、参加者も含め議論しました。



スキルアップ講座

チームビルディングと
ファシリテーション

参加者 塾生 12名

講師 宮道 喜一
(NPO法人
まちなか研究所
わくわく 事務局長)

地域の困りごとを解決していくプロセスにおける、話し合いのスキルとして、チームビルディングとファシリテーション学びました。



企画づくり

参加者 塾生 11名

講師 平良 斗星氏
(公益財団法人
みらいファンド沖縄
副代表理事)

課題解決のための企画をつくるプロセスを学びました。チームで誰のどんな困りごとを解決したいのか話し合い、企画内容を掘り下げました。



今ある

入塾式 /
普天間第二小学校区内活動発表

参加者 塾生 12名

発表 7団体

午前中は入塾式で、地域の概要と成り立ちについて学び、午後は、普天間第二小学校区内で活動する3自治会と4団体から現状と課題を発表いただきました。そして、今ある活動を知ったうえで取り組みたいテーマを話し合いました。

地域活動を知る

地域の実践から学ぶ

参加者 塾生 11名

講師

渡名喜 庸松氏 (普天間三区自治会会長)

南 信乃介氏 (那覇市繁多川公民館館長)

公民館の運営を通して様々な取り組みを行っている渡名喜氏、南氏をお招きし、人が集い話す場(公民館)からどのような活動が生まれるのか、実践と場を作るヒントを学びました。



課題解決に向けた企画づくり

中間発表

～企画のための1アクション～

参加者 塾生 12名

これまでチームで話し合ってきた企画内容と、企画を深めるための1アクションについて中間発表を行いました。塾生同士で意見を交わし、企画のブラッシュアップをしました。



チームで企画づくり

参加者 塾生 10名

課題解決に向けた企画づくりを各チームで進めました。チームで取り組んだことを共有したり、企画の進捗状況を確認しながら議論を深め、最終発表に備え、準備をしました。



第5回講座

日時 10月22日(日)
10:00-15:00
会場 普天間第二
小学校

第6回講座

日時 10月25日(水)
19:00-21:30
会場 普天間第二
小学校

第7回講座

日時 11月8日(水)
19:00-21:30
会場 新城区公民館

第8回講座

日時 11月11日(土)
10:00-16:00
会場 宜野湾市社会
福祉センター

塾生
個別相談
オンライン
実施

フィールドワーク

フィールドワーク
～地域の資源を歩いて知ろう～

参加者 塾生 13名

案内 新垣 清涼氏
(喜友名区老人会会長)

新垣氏の案内で文化遺産が多く残る喜友名区のまちあるきを行いました。午前は、どのような視点でまちを見るか決め、実際に歩くことで地域の特性や歴史について知ることができました。午後はチームで企画の絞り込みを行いました。



今後の活動に向けて

最終発表・修了式

参加者 塾生 12名、
一般・事務局 9名

連続講座で学んだ成果を3チームが発表しました。各チームで企画書をもとに発表資料を作成し、企画提案を行い、発表方法の工夫も見られました。その後、修了式にて修了証が授与され、全8回の連続講座が修了となりました。



塾生個別相談

期間 2023年11月
～2024年3月

実施回数 4回

事務局にて、企画内容のブラッシュアップや、助成金申請、地域活動に関する相談を受け付け、今後の活動につながるサポートを行いました。



関係者からみた地域づくり塾

様々な人や組織の人材育成・発掘のために



塾長 宜野湾市
松川 正則 市長

本市では、市の最上位計画である「第四次宜野湾市総合計画」の基本目標として「市民と行政が協働するまち」を掲げ、協働によるまちづくりを進めているところでございます。その実現のためには、一つの組織、団体では対応できない複雑化した地域課題を、様々な人や組織が関わり解決していくことが求められております。そのため当塾は、地域活動の「核」となる人材、組織の「つなぎ役」となる人材の育成・発掘を目的として開催しております。今期の課程を修了した皆さまにおかれましては、今後も引き続き卒業生とともに自主交流会や活動にご参加下さり、協働による地域づくりの担い手、つなぎ手として、ご活躍されることを期待しております。



宜野湾市教育委員会
仲村宗男 教育長

本市教育委員会では、学校を中心とした地域づくりを目的とした「地域学校協働活動推進事業」において、学校と地域をつなげる地域コーディネーターを配置しております。今回、当塾において、多くの地域コーディネーターの皆様が修了されましたことを、大変心強く思います。塾生の皆様が、塾で培ったスキルやつながりを活かし、地域づくりの担い手として、楽しみながら、ご活躍されますことを心より期待申し上げます。



まちなか研究所わくわく
宮道喜一 事務局長

今期は、初めて小学校区をフィールドとしました。塾生の皆さんは、普天間第二小学校区の頑張りや大事にしたいこと、困りごとに目を向けて、多くを学びました。歩いて移動できる小学校区内での、自治会エリアを超えての企画や、資源をつなぐ「つなぎ手」としての企画が見られました。塾での出会いとつながりを生かして、宜野湾市の地域づくりと一緒に頑張っていきましょう。



ぎのわん地域づくり塾2023 実施概要

宜野湾市 市民経済部 市民協働課 市民協働係 TEL 098-893-4411 (内線 2223)